



わらしべの里通信

～ 仲間の役員選挙がありました～



誰に投票しようかな…悩み中… (´д´)



投票結果を待っているところ



こちらの4名が新役員さんです！これからよろしくお願いします！

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：P
ORRがお伝えします】
今日9月10日は、2年に1度行われる仲間の役員選挙
の投票日です。現在の仲間の会の役員任期が9月末で
満了となるため開催されました。次期役員の見集をした
ところ8名の立候補者が集まりました。
迷う！次の役員さんは誰がいい？
今回は、新型コロナウイルス感染予防のため演説会
は行われず候補者の「自分PR・自分の良いところ・私が
役員になったら…」の3つが顔写真付きで壁に貼りださ
れました。それから1週間は、候補者の顔写真や自己
PRを休み時間に見ている仲間をたくさん見かけまし
た。また、日頃の様子などもしっかり見て、仲間たちは
誰が次期会長にふさわしいか品定めをしたようです。
当日、仲間たちはそれぞれに想いを込めて投票用紙に
丸を書き込みました。票が多い順から、会長・副会長・

書記2名となります。結果は、即日開票し、発表となり
ましたが、時間の都合上当選者の挨拶は、翌週の給食の
前に行われました。
新しい役員さんの発表
新会長は、10票獲得した通所歴10年目のTくん。心
優しく人あたりもやわらかで、いつもニコニコしていま
す。新副会長は、通所歴15年目のHくん。元気いっぱい
で、楽しいおしゃべりをたくさんしてくれます。新しい
書記は、12年目のYくん。ボールペンの組み立て作業が
得意な欠かすことのできない仲間です。3名とも請負事
業にて活躍中です。もう1名の書記は、通所歴27年目の
Rさん。何事にもやる気十分で、頼もしいお兄さんのよ
うな存在です。パソコン事業にて活躍中です。
新役員が揃って「2年間、よろしく願います。」
と挨拶。任期は、2022年10月1日～2024年9月
30日です。活躍を期待しています！



~今年も冷たくておいしい！アイスを食べる会開かれる~



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：PORIがお伝えします】
毎日のように猛暑日が続いていた8月20日土曜日、夏の恒例行事となった「アイスを食べる会」（仲間の会主催）が開催されました。この行事は、平成21年から続いている大好評な行事のひとつです。

いざ！真剣勝負！！

ですが、その前にお楽しみをひとつ…ということで、作業中に2名ずつ声を掛けられ、魚釣りゲームを行いました。小さなビニールプールを池に見立て、磁石が付いている釣り竿で、これまた磁石付きのお魚を制限時間1分で何匹釣れるかな？というレクリエーションを行いました。このときに多く釣れた順から好きなアイスを選ぶことができました。ということで、真剣勝負に拍車がかかりました。

みんなとアイスを食べで大満足！

昼食の前に1位から順に名前を呼ばれ、バニラアイス・チョコアイス・飲むアイス・チョコもなかアイスなどがプリントされたイラストを選び、食後にアイスと引き換えにデザートとして、おいしくいただきました。

今年も冷たくておいしいアイス仲間たちみんなで食べることができました。1人で家で食べるよりおいしく感じました。1週間の仕事も終わり、誰もがほっとする土曜日。待ちに待ったアイスを食べる会は全員が満足している様子でした。来年もみんな楽しんでみたいです。



プレゼントをもらったぞ！



お魚を釣っているところ



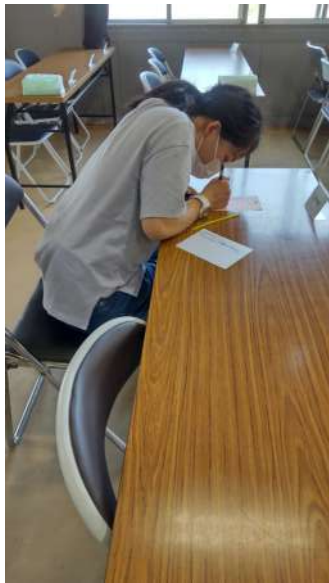
このお魚を釣りました～



アイスを食べるよー



7月2日「ひこぼしとおひめ」の世界に招待されました



願い事を書いています

6月21日から28日、仲間と支援員で構成されたグループが1日に1グループずつ

昼食は、ケンタッキーのランチセット
願い事を書いた2日のランチは、ケンタッキーの店員さんが配達してくれたポテトと飲み物もついたチキンフィレサンドセットと和風チキンカツサンドセットでした。同じ方向を向いて座り、静かにいただきました。チキンフィレサンドは塩味が効いていました。対照的に和風チキンカツサンドは、甘辛い味付けだったそうです。

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】
7月2日は、土曜開所日です。支援員さんが七夕の由来について話をしてくれました。新型コロナウイルス感染予防対策の観点から仲間たちは第1作業所と第2作業所に別れ「ひこぼしとおひめ」の話に耳を傾けました。第1作業所の仲間は食堂で物語の世界に招待され、願い事をすらすらと書いていました。願い事は7日の記事で紹介します。

みんなで食べた「おいしい」思い出

願い事を書いた2日のランチは、ケン

タッキーの店員さんが配達してくれたポ

テトと飲み物もついたチキンフィレサン

ドセットと和風チキンカツサンドセット

でした。同じ方向を向いて座り、静かに

いただきました。チキンフィレサンドは

塩味が効いていました。対照的に和風チ

キンカツサンドは、甘辛い味付けだった

そうです。



短冊を飾りつけ

つ外出し美味しいものを食べましたが、「美味しいものをみんなで食べること、いいことだなあ」とこのときも感じました。この想いは、僕だけではないと思います。感染防止に、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの「密」を避けるため、食べ終わった頃から自由解散となりました。

七夕の願いごと

ペンネーム：混むがお伝えします】

七夕の日、わらしべの家でも7月7日に昼食前のわずかな時間を利用して「七夕の会」を開きました。今年は、7月2日に支援員さんが朗読してくれた「ひこぼしとおひめ」にまつわるクイズに挑戦。質問に対してあっていると答えるに挙手しました。全問正解する仲間もいれば、1問間違える仲間も。そこはご愛嬌。おひめさんとひこぼしさんも笑顔だったことでしょう。

家族の幸せやコロナ終息後の将来への

希望を反映した願いごと

「世界平和、家族の幸せ」、「健康第

一」、「コロナが早く終息して自由に買い物とか外出ができるようになりまうに」、「さをり織りがもっと上手に織れるようになりまうに」、「お仕事頑張りたい」と自分の仕事や新型コロナウイルス終息後の将来への希望を反映した願いごと多数見受けられました。

七夕は1年に1度だけ「おひめ」と「ひこぼし」が天の川の上でデートをする日といわれ、この日にちなんで願い事を書いた短冊を笹の葉につるし、おひめ星に上達を願うとされています。みんなの願いは、天の川へ届けられました。おひめさんとひこぼしさん、願い事を聞いてくれましたか？叶いますように…。



七夕飾りと仲間たち





少人数でのお出かけをしました



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】

6月21日から28日、仲間と支援員で構成されたグループが1日に1グループずつ午前9時30分から午後1時30分まで新型コロナウイルス感染予防に努めながら出かけました。みんなの意見を聞き、行き先をまとめて2時間以上のお出かけは令和2年1月以来のことです。

ひさしぶりの買い物や食事を楽しんできました

行き先は栃木市内の本屋に行くことを一番最初に選ぶグループが多く、豊富な本の中から好みの本を見つけると嬉しそうな笑顔が見られました。お昼ご飯はショッピングモール内にあるイタリアンカフェレストランやフードコートで美味しいご飯をゆっくり食べようとそれぞれ好きなメニューを注文していました。

「来年はどこに行こうかな？」

どのグループも日頃の作業を忘れて楽しい時間を過ごせましたが、わらしべの家で「来年行こうかな？」という声が1番聞こえたのは最終日の28日に小山方面にお菓子作り体験と買い物に行ってきたグループでした。みんなの手であんこに命を与えてきたようで同行した支援員さんは「丁寧な説明のもと皆さんとても真剣な表情で取り組まれており、お菓子が完成すると嬉しそうな笑顔が見られました」と話していました。



美味しいものを食べていますね



クレーンゲームに夢中！



ハンバーガーセットを食べています♪



和菓子作りを体験中



アジサイに見守られて



お花カーリング & 千本引きくじ



むずかしいわね～

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】
5月28日。今日は土曜日ですが、面談室から賑やかな声が聞こえてきます。職員さんに2名ずつ呼ばれ、薄紙で作ったお花をカーリングのストーンに見立て、テーブルの上でサーッと滑らせて止めた位置で点数を競う“お花カーリング”ゲームをしています。カラフルなマスク



狙え！高得点！！いくそっ！！

ングテープときれいな色とりどりの花々で、普段とは違った華やかな雰囲気なのか、楽しむことができました。
力加減が難しく、8投のうち狙った高得点のレーンに届かなかったり、行き過ぎてしまったらと思うようにはならず、出番を待つ仲間たちに「力加減、重要！」とのアドバイスがありました。
千本引きくじにスリル!?
昼食の前に、カーリングの得点が高



お花の渋滞中・・・

かった順から千本引きくじを引きました。たくさんのお花のなかから、“これだ！”と思う紐を1本引きます。どの賞品につながっているのかも重要ですが、引いているときのドキドキとワクワク感が1番のスリルを感じているかもしれません。それは、僕だけではないと思います。
それぞれに引き寄せた賞品に笑顔を浮かべ、また来週！と言い合いながら帰宅しました。



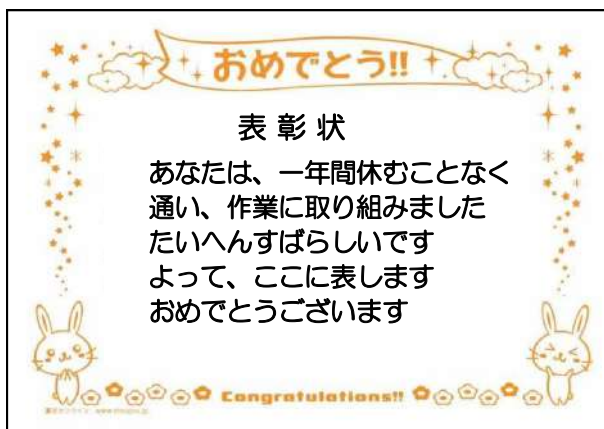
仲間たち全員に令和3年度「がんばったで賞」が授与される



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】
わらしべの家は、このほど令和3年度年間皆勤賞表彰式を行いました。
例年は仲間の中から体調管理に努め、土曜開所日と祝日開所日を含む作業日265日を1日も休まず作業をした仲間たちを表彰していました。令和3年度の対象は、令和4年3月時点で在籍している41名の仲間全員を表彰しました。
突然のプレゼントに笑顔
令和3年度もコロナ禍のなか、大変なこともありましたが、仲間たちは仕事ができることの喜びを実感した1年でした。そんな1年にがんばったで賞を授与されるため仲間たちは第1作業所と第2作業所で名前が呼ばれました。
表彰状とふわふわスポンジとなめらかクリームに、思わず笑顔が広がるスイーツを手にした表情は誇らしさと達成感と少しの恥ずかしさが入り混じっているようにも見えました。



賞状いただきました！



8月～9月の行事

8月の行事				9月の行事			
28日	22日	21日	10日	3日	31日	26日	27日
嘱託医問診	誕生会（1人）	健康診断	仲間の会の選挙	土曜開所	嘱託医問診	誕生会（4人）	（作業とイベント）
							土曜開所

これからの行事予定

10月の行事予定				11月の行事予定				12月の行事予定			
24日	22日	18日	3日	26日	28日	22日	15日	30日	25日	23日	3日
誕生会（3人）	嘱託医問診	土曜開所	豆まき	嘱託医問診	誕生会（2人）	（作業とイベント）	土曜開所	嘱託医問診	誕生会（2人）	（作業とイベント）	土曜開所

今後の行事予定については、
新型コロナウイルスの感染状況
社会の動きを見て判断いたします。

※月の第4金曜日に、
給食の前に、誕生会を
仲間の会主催で行います。
※月の最終週の水曜日は、
嘱託医問診です。

はやくみんなと出掛けたいな…
食事や買いものをしたいな…
コロナが早く終息しますように。

～ わらりんの仲間紹介 ～



みなさん、こんにちは！社会福祉法人わらしべの里に住み着いている妖精（妖怪？）のわらりんです。このコーナーでは、わらしべの里に通う仲間たちひとりひとりにスポットを当て、インタビューをするコーナーです。不定期ですがどんな紹介しまーす。

今回は、第10号となるこの方です。
金田 留理子（58）
わらしべ歴20年目のベテラン
所 属：自主製品事業 さをり織り

作業内容：さをり織り、糸整理、出店の呼び込みなど

「私、金田留理子です」

38歳でわらしべの家に通い始め、今年で20年目。金田さんは朝食を食べ、送迎車を利用して通所。午前9時、お仕事開始。糸整理をすることから、金田さんの朝一番のお仕事が始まります。織り終わった仲間とさをり織りの反物を作るうえで最も重要な経系の長さや本数を決める作業から、具合が悪い織機のメンテナンス作業まで、仲間のサポートをしています。存在が大きいですね。

お話し上手な理由は・・・

日ごろから、仲間のサポートを自分の仕事のひとつとされている金田さん。若い仲間との年齢差は親と子。それでも上手に話せるのは「わらしべに在籍し始めたところに出会った仲間のおかげ」と言います。思い出したわらりん。そういえば、作業をしていると同年代の仲間にながら話をしながら15時30分まで作業をしながら話をしながらデザインに生かしていましたね。金田さんを気遣った仲間たちは、卒業なされてしまいました。ですが、あの時の経験を金田さんご自身で伝承しているのかもしれないね。

楽しいお泊り

「いつまでも、親と暮らしていたいけど。なかなか難しい」。2017年から月2回栃木市内の施設へお泊りしている金田さん。「職員さんみんな明るくてよかった」と話す表情にほっとしたわらりん。

ん。楽しく一晩を過ごせて、気持ちよく生産活動に臨めるのが一番ですから。

わらりんから

わらりんが、金田さんを影から応援し続け、20年。これからも体調に気をつけて、わらしべに通ってくださいね。：もっとお話を聞きたいのですが、紙面に限りがありますので、このあたりで終わりにします。機会がありましたら、また続きを書きたいと思います。それでは、みなさん次号までさようなら。インタビュー・わらしべの妖精わらりんでした。





金坂直仁前理事長に「福祉功労者表彰」が授与される

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】

わらしべの里金坂直仁前理事長が長年の障がい福祉施設の施設長や理事長としての取り組みを評価され、栃木市社会福祉協議会より、「福祉功労者表彰」を受けました。本来であれば、社会福祉協議会主催の表彰式が開催される予定でしたがコロナ禍により中止になったため、3月19日に行われた定期理事会開会前に大橋誠理事長から表彰状が授与されました。

堀の内地区に根付いた

わらしべの里での取り組みを評価

金坂直仁前理事長は在宅障害者支援活動として、栃木市大宮町堀の内地区に“障害者福祉作業所”の運営を行うため、昭和55年（1980年）4月に『財団法人わらしべの里』を創設しました。法人運営に忙しいなかでも時間を見つけて事務室から出てこられ、作業室で仲間たちの隣に座り、一緒にボールペン組み立て作業など取り組まれていた姿が印象に残っています。

金坂直仁前理事長が堀の内地区の自治会長に就任されたのは、平成15年（2003年）でした。「地域と支えあつての福祉。地域の皆様にもわらしべの里を使ってもらおう」と始めたのが「堀の内自治会 敬老会」に会場の提供や栃木市立東陽中学校廃品回収への協力でした。

今は 地域のごみ拾いと形を変えています
が、仲間が取り組めることとして自治会草む
り活動への協力をしていました。そんな取
り組みの積み重ねが認められ今回の授与とな

りました。

トイレの同性介助に感謝

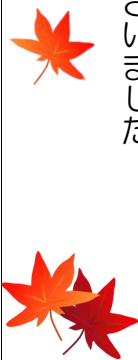
私事になりますが、私の母が、栃木県立若草養護学校の保護者とともにわらしべの家を訪れたのは昭和60年（1985年）のことでした。そのときに「たとえ重度の身体障害者でも、これからの時代はワープロを使った入力作業で、お金を稼ぐ時代だよ」とおっしゃられた言葉が印象に残っているそうです。

私は、トイレをひとりできません。人の手を借ります。平成8年（1996年）からわらしべの家に通い始めて1年、「わらしべの里通信」の編集作業を楽しみ、昼休み前に母の介助でトイレをすませていました。

そんな環境を改善しようと男性職員の募集をしてくださいました。それから、仕事に必要なものをそろえていただきましたが、トイレにおける同性介助の配慮は一生忘れません。あつがっこうでした。



大橋理事長より表彰状を授与される金坂前理事長



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第56号(通巻70号)

※ 財団法人時代から数えて第70号となります

発行元 社会福祉法人わらしべの里

発行責任者 大橋 誠

〒328-0011 栃木市大宮町2708-3

電話 0282 - 27 - 1627

Fax 0282 - 27 - 1675

E-mail warashibenosato@oc9.ne.jp (事務所)

<https://www.warashibenosato.com>

わらしべの家

検索 

編集後記

僕は今、毎日楽しくわらしべの家に通っています。普段どおりのいつもの生活がこんなにも有難いものだと、今回も思い知りました。なぜなら、蜂窩織炎という病気で4回目の入院だったこと、そして今までと違ったのは退院するまで今年の5月中旬から2ヶ月もの時間がかかってしまったことです。こんなに長い間入院したことはありませんでした。今では、僕の両親に部屋をバリアフリーに改築してもらい、元気に通所しています。

2ヶ月間の入院生活の間に、みんなからの寄せ書きやお手紙が届きました。「待ってるよ」という言葉に僕はとても励まされました。感謝の気持ちでいっぱいでした。早く元氣になって元の生活に戻らなくちゃ、と思ったことを部屋に飾った寄せ書きを見るたびに嬉しい気持ちと一緒に思い出されます。

これからわらしべの家に通いたいです。(範)

名刺・封筒・ホームページ・機関紙・カレンダーのことならパソ工房にお任せ